

CITY OF YOKOHAMA

横浜市における ケアプランデータ連携システムの 普及促進について

横浜市健康福祉局介護事業指導課

令和6年12月

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER

- 1 横浜市の概要
- 2 横浜市の介護現場を取り巻く状況
- 3 システム導入にあたっての課題
- 4 普及啓発の取組内容
 - (1) 特設サイトの開設
 - (2) 導入促進セミナーの開催
 - (3) システム操作体験会の開催
- 5 今後の展開



1 横浜市の概要

- ◆ 総人口 : 3,767,635人
- ◆ 第一号被保険者数 : 939,313人
(人口に占める割合 : 24.9%)
(令和6年4月1日現在)

- ◆ 介護事業所数 : 9,403事業所
- ◆ システム連携対象事業所数 : 5,491事業所 (※)
- ◆ システム導入事業所数 : 190事業所
【導入率 : 3.5%】

(※) 居宅療養管理指導は除く

(令和6年11月1日現在)



2 横浜市の介護現場を取り巻く状況

- ◆ 横浜市では、2040年には**市民の3人に1人が高齢者**になると見込まれる
 - ◆ 介護ニーズが増加する中で生産年齢人口は減少し、介護サービスを支える**介護人材不足が深刻化**
 - ◆ 限られた人材の中で介護サービスの質を確保しなければならない
- ⇒ **介護現場の業務負担軽減が急務！！**
そのひとつとして、**ケアプランデータ連携システムの利用促進**
を進める必要がある

3 システム導入にあたっての課題

【介護事業所からの意見】

- ◆ 本システム自体は認知しているが、導入によるメリットがわからない
- ◆ 導入している事業所が少なく、導入効果が得られない
- ◆ 導入方法やシステムの操作方法等がわからない
- ◆ システムのライセンス費用（年間21,000円）が負担である

【顕在化した課題】

- ◆ システムの導入効果が市内の介護事業所に十分に周知・理解されていない
- ◆ システム導入率が低く、導入効果が少ないため、様子を見ている事業所が多い
- ◆ システムに対する横浜市の考えを介護事業所に理解いただく必要がある
- ◆ ライセンス費用以上の経費削減が可能であることが周知されていない

介護事業所の皆様にシステムをより深く理解してもらう取組が必要

4 普及啓発の取組内容

(1) 特設サイトの開設

- ◆ 横浜市のホームページにケアプランデータ連携システムの特設サイトを開設
⇒介護事業所の皆様に知っていただきたい情報を横浜市から情報発信

【特設サイトでの案内】

- ◆ ケアプランデータ連携システムの概要
- ◆ オンデマンド方式のセミナーの開催
- ◆ ヘルプデスクサポートサイトの案内
- ◆ 「WAM NET」での利用状況の案内
- ◆ 厚生労働省発出の介護保険最新情報の案内
- ◆ 操作体験会の周知

横浜市

9/20(金)10:00~ケアプランデータ連携システム導入促進セミナー実施中!!

ケアプランデータ連携システムについて

(1) システムの概要

ケアプランデータ連携システムは、毎月、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所の間でやり取りされるケアプラン（予定・実績情報）について、クラウドを活用して電子的に関係者間で共有できるシステムです。

ケアプランデータ連携システムを導入することによって、介護事業所の文書作成に要する負担が大幅に軽減されることが期待されています。横浜市は、介護事業所の事務負担の軽減を図るため、ケアプランデータ連携システムの導入を推進していきます。

【イメージ図】（公益社団法人国民健康保険中央会の資料から抜粋）

居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所とのケアプランのやりとりを、
オンラインで完結できる仕組みです。

横浜市のホームページ

4 普及啓発の取組内容

(2) 導入促進セミナーの開催

- ◆ 横浜市のホームページ上でオンデマンド方式（動画配信）の導入促進セミナーを開催
⇒ 事業所の都合の良いタイミングで、いつでも視聴できるようにオンデマンド方式で開催
より多くの事業所の理解が深まるよう、プロモーションや操作ガイドも合わせて配信
【導入促進セミナーの内容】

(I) 横浜市からの説明動画の配信

(II) 居宅介護支援事業所の管理者の講演動画の配信

(III) システムのプロモーション動画配信

【制作：国民健康保険中央会】

(IV) システムかんたん操作ガイドの動画配信

【制作：国民健康保険中央会】

(V) アンケート調査



「ケアプランデータ連携システム」導入促進セミナー

横浜市では、介護現場の負担軽減や業務の効率化が期待できる「ケアプランデータ連携システム」の導入促進に取り組んでいます。居宅介護支援事業所や介護サービス提供事業所の皆様に「ケアプランデータ連携システム」を知っていただき、より多くの事業所にシステムを導入していただくため、動画でのセミナーを開催します。いつでも、どこでもセミナー動画の視聴が可能ですので、下記の動画で「ケアプランデータ連携システム」の導入効果をご確認いただき、システム導入についてご検討ください。

<動画セミナーの内容>

- [\(1\) はじめに ケアプランデータ連携システムの導入について \(12分32秒\)](#)
- [\(2\) 『ケアプランデータ連携システム』を活用した業務改善への取り組み \(34分48秒\)](#)
- [\(3\) ケアプランデータ連携システム プロモーション動画 \(4分35秒\)](#)
- [\(4\) 10分でわかる！ケアプランデータ連携システム かんたん操作ガイド \(9分25秒\)](#)
- [\(5\) アンケート調査](#)

(1) はじめに ケアプランデータ連携システムの導入について (12分32秒)

横浜市のホームページ

4 普及啓発の取組内容

(2) 導入促進セミナーの開催

(I) 横浜市からの説明

システム導入に関する横浜市の考え方や導入効果について、介護事業所の皆様の理解を深めるため、横浜市の方針やシステムの概要を動画で説明

(1) はじめに ケアプランデータ連携システムの導入について (12分32秒)

横浜市からケアプランデータ連携システムの導入について、横浜市の方針やシステムの概要についてご説明します。



4 普及啓発の取組内容

(2) 導入促進セミナーの開催

(Ⅱ) 居宅介護支援事業所の管理者による講演

システムを導入している居宅介護支援事業所の協力を得て、システム利用者として、導入のメリットや導入後の効果、業務改善への取組に関する講演を動画で配信

(2) 『ケアプランデータ連携システム』を活用した業務改善への取り組み (34分48秒)

トライドケアマネジメント（居宅介護支援事業所）の長谷川代表による講演です。

長谷川代表に、本システムの利用者として、導入のメリットや導入後の効果について伺いました。



4 普及啓発の取組内容

(2) 導入促進セミナーの開催

(Ⅲ) システムのプロモーション動画

(Ⅳ) システムかんたん操作ガイドの動画

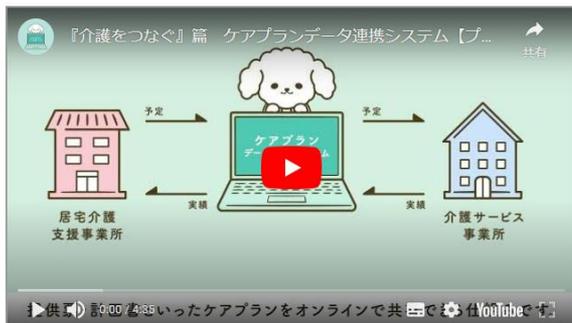
国民健康保険中央会作成のプロモーションと操作ガイドの動画がコンパクトで分かりやすいため、導入促進セミナーの内で動画配信

(3) ケアプランデータ連携システム プロモーション動画 (4分35秒)

メリットやビジョンをまとめた動画です。

公式イメージキャラクターの「ケアプー」がご案内します。

(ケアプランデータ連携システム ヘルプデスクサポートサイトで配信されている動画です【制作：国民健康保険中央会】)



(4) 10分でわかる！ケアプランデータ連携システム かんたん操作ガイド (9分25秒)

ケアプランデータ連携システムの機能や操作方法についての説明動画です。

(ケアプランデータ連携システム ヘルプデスクサポートサイトで配信されている動画です【制作：国民健康保険中央会】)



4 普及啓発の取組内容

(3) システム操作体験会の開催

- ◆ システムの操作体験の他、厚生労働省及び国民健康保険中央会から説明
⇒ 操作体験ができるデモ端末と導入後の費用対効果をシミュレーションできる端末を用意
厚生労働省及び国民健康保険中央会の協力を得て、システムの導入効果等を説明

【システム操作体験会の内容】

- (1) 横浜市挨拶
- (2) 厚生労働省の説明
- (3) 国民健康保険中央会の説明
- (4) 質疑応答
- (5) 操作体験会
 - ・ 操作体験
 - ・ 費用対効果シミュレーション



システム説明の様子



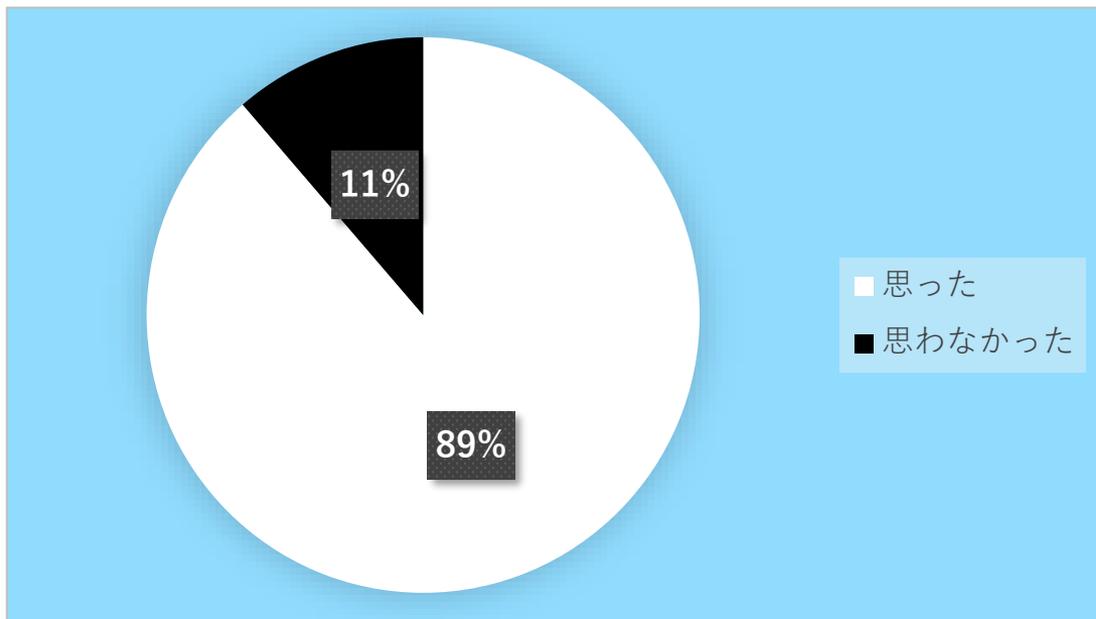
操作体験会の様子

4 普及啓発の取組内容

(3) システム操作体験会の開催

【システム操作体験会のアンケート結果】

(1) 操作体験会に参加して、今後システムを導入したいと思いましたが。



4 普及啓発の取組内容

(3) システム操作体験会の開催

【システム操作体験会のアンケート結果】

(2) 導入しようと思った理由（自由記載）

- ・ 事務作業と経費削減、個人情報管理上に有意義と感じたから。
- ・ 使いやすそうに感じた。請求に関する業務負担を減らせると思った。
- ・ 効果があること、安全性も理解できた。
- ・ この時代背景の中で利用者支援には必要なシステムだと思う。

(3) 導入しようと思わなかった理由（自由記載）

- ・ 現在は普及率が悪いので、まだ本来の目的では利用できないと感じた。
- ・ 事業所番号1つにつき1つ。ケアマネが各自使用しているパソコンから自由に使えない。

4 普及啓発の取組内容

(3) システム操作体験会の開催

【システム操作体験会のアンケート結果】

(4) システムの導入が進むためには、何が重要だと思いますか。(自由記載)

- ・ 各事業者への周知徹底
- ・ サービス事業者に知ってもらうこと
- ・ 居宅介護支援事業所のシステム導入
- ・ 行政の導き、定期的な事務所への本日のような説明体験会の開催
- ・ 全ての請求ソフトにシステムが対応すること
- ・ システム導入の際のサポート
- ・ 全事業者の導入。むしろ導入が必須としても良いと思う。
- ・ 初年度のライセンス費用や導入費用に補助があると良い。

5 今後の展開

- ▶ 今後も積極的にシステムの周知等や導入促進に向けた支援を進める
 - ・ 特設サイトでの情報発信
 - ・ 導入促進セミナーの継続的な実施
 - ・ デモ機を使った操作体験会の継続的な実施
- ▶ 国の支援策（ケアプランデータ連携による活用促進モデル地域づくり事業等）を活用した取組の検討

横浜市では可能な限り早期に
市内の全事業所でシステムが導入・活用されている状態を目指す

働きやすい職場 = 介護人材の定着へ！！